

令和4年度 公益財団法人加古川食肉公社定時評議員会議事録

1. 会議名称 令和4年度公益財団法人加古川食肉公社定時評議員会
2. 開催日時 令和4年6月21日(火) 午後2時30分から午後3時25分まで
3. 開催場所 加古川食肉センター会議室
4. 評議員数 評議員7名
5. 出席評議員 評議員6名
(出席評議員) 平井敏樹 中田直文 川上雄司 大西秀人 大川浩一 原戸聡志
(欠席評議員) 谷元哲則
(出席理事) 中尾徳弘理事長 田淵和也常務理事
(出席監事) 平井雄一郎 久保田智英

6. 議題

決議事項

- 議案第1号「令和3年度公益財団法人加古川食肉公社事業報告のこと」
- 議案第2号「令和3年度公益財団法人加古川食肉公社決算承認のこと」
- 議案第3号「公益財団法人加古川食肉公社評議員選任のこと」
- 議案第4号「公益財団法人加古川食肉公社評議員選任のこと」
- 議案第5号「公益財団法人加古川食肉公社評議員選任のこと」
- 議案第6号「公益財団法人加古川食肉公社評議員選任のこと」
- 議案第7号「公益財団法人加古川食肉公社理事選任のこと」

報告事項

- 報告第1号「令和4年度公益財団法人加古川食肉公社事業計画ならびに収支予算報告のこと」

付帯決議

「議決事項中、権利義務に関さない軽微な事項の修正並びに違算誤字の訂正は、議長に一任する。」

7. 評議員会の議事の経過の要領及びその結果

事務局より令和4年度定時評議員会の開催を宣言し、評議員会運営規程第7条第2項の規定により評議員互選により、平井敏樹評議員を議長に選出し、議長が議事進行した。

議 長：評議員の出席状況を事務局に報告させた。

事 務 局：評議員7名中6名の出席を得ており、本日の評議員会が定款第18条第1項の規定に

基づき評議員会が成立する旨を告げた。

議 長：議事録署名人については、定款第 19 条第 2 項の規定に基づき、中田直文、原戸聡志
両評議員を選任した。

議 長：議案第 1 号 令和 3 年度 公益財団法人加古川食肉公社事業報告のこと、について、
事務局より説明をさせたのち、原案について評議員の質疑・意見を求めた。

議 長：評議員の質疑がなかったので、本案を原案のとおり承認することについて諮ったと
ころ満場一致で決定した。

議 長：議案第 2 号 令和 3 年度 公益財団法人加古川食肉公社決算承認のこと、について、
事務局より説明をさせたのち、原案について評議員の質疑・意見を求めた。

議 長：評議員の質疑がなかったので、本案を原案のとおり承認することについて諮ったと
ころ満場一致で決定した。

議 長：議案第 3 号 公益財団法人加古川食肉公社評議員選任のこと、について、
「竹中重夫」について原案のとおり承認することについて諮ったところ満場一致で選任
することに決定した。

(被選任者) 竹中重夫 (加古川市環境部長)

(任期) 令和 4 年 6 月 21 日より令和 6 年度に関する定時評議員会の終結のとき
まで

議 長：議案第 4 号 公益財団法人加古川食肉公社評議員選任のこと、について、
「田口元茂」について原案のとおり承認することについて諮ったところ満場一致で選任
することに決定した。

(被選任者) 田口元茂 (全国農業協同組合連合会兵庫県本部畜産部長)

(任期) 令和 4 年 6 月 21 日より令和 6 年度に関する定時評議員会の終結のとき
まで

議 長：議案第 5 号 公益財団法人加古川食肉公社評議員選任のこと、について、
「生田健太郎」について原案のとおり承認することについて諮ったところ満場一致で選
任することに決定した。

(被選任者) 生田健太郎 (兵庫県立農林水産技術総合センター畜産技術センター所長)

(任期) 令和 4 年 6 月 21 日より令和 6 年度に関する定時評議員会の終結のとき
まで

議 長：議案第 6 号 公益財団法人加古川食肉公社評議員選任のこと、について、
「大浦達也」について原案のとおり承認することについて諮ったところ満場一致で選
任することに決定した。

(被選任者) 大浦達也 (加古川食肉産業協同組合理事長)

(任期) 令和4年6月21日より令和6年度に関する定時評議員会の終結のとき
まで

議 長：議案第7号 公益財団法人加古川食肉公社理事選任のこと、について、
「上田敏」について原案のとおり承認することについて諮ったところ満場一致で選任
することに決定した。

(被選任者) 上田敏 (加古川市産業経済部次長)

(任期) 令和4年6月21日より令和4年度に関する定時評議員会の終結のとき
まで

議 長：報告第1号 令和4年度 公益財団法人加古川食肉公社事業計画ならびに収支予算報
告のこと、について、事務局より説明をさせたのち、原案について評議員の質疑・意見
を求めた。

評 議 員：機械装置について、令和3年度は1億円近い支出があるのに、令和4年度は0円とあ
る。機械装置は毎年必要なものではないのか。

事 務 局：予算科目としては、機械装置と什器備品という形になっているが、予算としては什器
備品として計上している。冷媒機器更新は3年計画で行っており、令和4年度はその3
年目にあたる。中長期計画の投資的負担金として5,800万円程度計上している。決算時
の固定資産計上に伴い、更新される機器や備品などの内容によって、機械装置又は什器
備品としてあげる場合がある。

評 議 員：コロナ禍で処理頭数がかなり減少したが、増頭の見込みはあるのか。

理 事 長：荷受会社や業者の皆さんの協力もあり、今年度も増頭が見込まれる。

監 事：全国肉牛事業協同組合から100頭程度の出荷予定の話がある。また、うしちゃんファーム
からもF1(交雑種牛)の出荷予定がある。

議 長：本案を原案のとおり承認することについて諮ったところ満場一致で決定した。

議 長：付帯決議について、事務局より説明をさせたのち、原案について評議員の質疑・意見
を求めた。

議 長：評議員の質疑がなかったため、本案を原案のとおり承認することについて諮ったとこ
ろ満場一致で決定した。

議 長：以上をもって、議案の審議等を終了したので、午後3時25分、議長は閉会を宣し、
解散した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人は、次のとおり記名押印する。

令和4年6月21日

令和4年度公益財団法人加古川食肉公社定時評議員会

(議長) _____ 印

(議事録署名人) _____ 印

(議事録署名人) _____ 印

(議事録調製)

公益財団法人加古川食肉公社

理事長 中尾 徳 弘